

給与所得者の保険料控除等申告書



ささき税務会計事務所

下記URLで書き方をご紹介します



<https://youtu.be/H73MrtTdY0Q>

保険料控除申告書

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

所轄税務署長	給与の支払者の 名 称 (氏 名)		(フ リ ガ ナ) あなたの氏名	⑩
	給与の支払者の 法 人 番 号	※ この申告書の提出を受けた給与の支払者 (個人を除きます。) が記載してください。		
	給与の支払者の 所 在 地 (住 所)			
税務署長			あなたの住所 又 は 居 所	



保 險 会 社 等 の 名 称	保 險 等 の 種 類	保 險 期 間 又 は 年 金 支 払 期 間	保 險 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 險 金 等 の 受 取 人		新 ・ 旧 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額 (分配を受 けた剰余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				氏 名	あなたとの 統 続 性			
一 般 の 生 命 保 険 料						新 ・ 旧	(a)	円
						新 ・ 旧	(a)	
						新 ・ 旧	(a)	
						新 ・ 旧	(a)	
						新 ・ 旧	(a)	
(a) のうち新保険料 等の金額の合計額		A	A の金額を下 の 計 算 式 I (新 保 険 料 等 用) に 当 て は め て 計 算 し た 金 額		①	(最 高 40,000 円)	計 (① + ②)	(最 高 40,000 円)
(a) のうち旧保険料 等の金額の合計額		B	B の金額を下 の 計 算 式 II (旧 保 険 料 等 用) に 当 て は め て 計 算 し た 金 額		②	(最 高 50,000 円)	② と ③ の い ず れ か 大 き い 金 額	④
(a) の金額の合計額		C						
(a) の金額の合計額		D	D の金額を下 の 計 算 式 I (新 保 険 料 等 用) に 当 て は め て 計 算 し た 金 額		④	(最 高 40,000 円)	計 (④ + ⑤)	(最 高 40,000 円)
(a) のうち旧保険料 等の金額の合計額		E	E の金額を下 の 計 算 式 II (旧 保 険 料 等 用) に 当 て は め て 計 算 し た 金 額		⑤	(最 高 50,000 円)	⑤ と ⑥ の い ず れ か 大 き い 金 額	⑥
計 算 式 I (新 保 険 料 等 用) ※		計 算 式 II (旧 保 険 料 等 用) ※		生命保険料控除額 計 (⑦ + ⑧ + ⑨) (最 高 120,000 円)		円		
A、C 又は D の金額		B 又は E の金額						
20,000 円以下		25,000 円以下						
20,001 円から 40,000 円まで		25,001 円から 50,000 円まで						
40,001 円から 80,000 円まで		50,001 円から 100,000 円まで						
80,001 円以上		100,001 円以上						

保 險 会 社 等 の 名 称	保 險 等 の 種 類 (目 的)	保 險 期 間	保 險 等 の 契 約 者 の 氏 名	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額 (分配を受けた剰 余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
地 震 保 険 料				地 震 ・ 旧 長 期	
				地 震 ・ 旧 長 期	
				地 震 ・ 旧 長 期	
				地 震 ・ 旧 長 期	
④ のうち地震保険料の金額の合計額					⑦
④ のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					⑧
(最 高 50,000 円) + (⑧ の金額 (⑧ の金額が 10,000 円を超える場合は、 ⑧ × 1/2 + 5,000 円) ※					(最 高 15,000 円)
=					(最 高 50,000 円)
社会 社会 保 險 保 險 料 支 払 先 保 險 料 を 負 担 す る こ と に な っ て い る 人 あなた が 本 年 中 に 支 払 っ た 保 險 料 の 金 額					
の 種 類 の 名 称 氏 名 あなた と の 統 続 性					
合 計 (控 除 額)					
小 規 模 企 業 共 済 等 掛 金 控 除					
種 類					あなたが本年中に支 払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金					円
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金					
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金					
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金					
合 計 (控 除 額)					円

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

※ 控除額の計算において算出した金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

保険料控除申告書

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

所轄税務署長	給与の支払者の 名 称 (氏 名)		(フ リ ガ ナ) あなたの氏名	ササキ ヤスタカ	
	給与の支払者の 法 人 番 号	※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。		佐々木 康貴	
	給与の支払者の 所 在 地 (住 所)			あなたの住所 又 は 居 所	東京都港区北青山 3 - 5 - 1 4 青山鈴木硝子ビル 7 階
税務署長					

保 險 会 社 等 の 名 称	保 險 等 の 種 類	保 險 期 間 又 年 金 支 払 期 間	保 險 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 險 金 等 の 受 取 人		新・旧 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額 (分配を受けた 剰余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				氏 名	あなたとの 統 続 性			
一 般 の 生 命 保 険 料						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料 等の金額の合計額		A 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ (新保険 料等専用) に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円)	計 (① + ②) ③ (最高40,000円)		円
(a)のうち旧保険料 等の金額の合計額		B 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ (旧保険 料等専用) に当てはめて計算した金額		② (最高50,000円)	②と③のいずれ か大きい金額 ④		円
(a)の金額の合計額		C 円	この金額を下の計算式Ⅰ (新保険 料等専用) に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円)	⑤		円
介 護 医 療 保 険 料						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a) 円	
(a)の金額の合計額		C 円	この金額を下の計算式Ⅰ (新保険 料等専用) に当てはめて計算した金額		⑥ (最高40,000円)	⑥		円
個 人 年 金 保 険 料						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料 等の金額の合計額		D 円	Dの金額を下の計算式Ⅰ (新保険 料等専用) に当てはめて計算した金額		⑦ (最高40,000円)	⑦		円
(a)のうち旧保険料 等の金額の合計額		E 円	Eの金額を下の計算式Ⅱ (旧保険 料等専用) に当てはめて計算した金額		⑧ (最高50,000円)	⑧と⑦のいずれ か大きい金額 ⑨		円
(a)の金額の合計額		F 円	この金額を下の計算式Ⅰ (新保険 料等専用) に当てはめて計算した金額		⑩ (最高40,000円)	⑩		円
計算式Ⅰ (新保険料等専用) 案		計算式Ⅱ (旧保険料等専用) 案		生命保険料控除額 (⑦ + ⑧ + ⑩) (最高120,000円)				
A、C又はDの金額		B又はEの金額		控除額の計算式				
20,000円以下		A、C又はDの金額		A、C又はD×1				
20,001円から40,000円まで		A、C又はDの金額		A、C又はD×1				
40,001円から80,000円まで		A、C又はDの金額		A、C又はD×1				
80,001円以上		A、C又はDの金額		一律120,000円				

保 險 会 社 等 の 名 称	保 險 等 の 種 類 (目 的)	保 險 期 間	保 險 等 の 契 約 者 の 氏 名	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額 (分配を受けた 剰余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
④のうち地震保険料の金額の合計額				⑤ 円	
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額				⑥ 円	
(B)の金額 (最高50,000円) + (C)の金額 (Cの金額が10,000円を超える場合は、C × 1/2 + 5,000円) ※				(最高15,000円) 円	
地震保険料控除額				=	(最高50,000円) 円

社 会 保 険 料 控 除	社 会 保 険 の 種 類	保 険 料 支 払 先 の 名 称	保険料を負担することになっている人 氏 名	あなたが本年中に支払った 保険料の金額
				円
				円
合 計 (控 除 額)				円

種 別	あなたが本年中に支払った 給付金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の給付金	円
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	円
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	円
確定拠出年金法に規定する契約の掛金	円

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

印鑑は認め印で構いません

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

保険料控除申告書

税務署長

給与の支払者の
法 人 番 号

給与の支払者の
所 在 地 (住 所)

※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。

(フリガナ)
あなたの氏名

あなたの住所
又 は 居 所

ササキ ヤスタカ

佐々木 康貴



東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階



保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類	保 険 期 間 又 は 年 金 支 払 期	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 険 金 等 の 受 取 人		新・旧 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額(分配を受けた 剰余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				氏 名	あなたとの 続 柄			
一 般 の 生 命 保 険 料						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料 等の金額の合計額		A 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険 料等)に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②) ③	(最高40,000円) 円
(a)のうち旧保険料 等の金額の合計額		B 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険 料等)に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれ か大きい金額 ④	円
介 護 医 療 保 険 料						(a)	円	
						(a)		
(a)の金額の合計額		C 円	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険 料等)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)	円	
個 人 年 金 保 険 料						新・旧	(a) 円	
						新・旧	(a)	
金 保 険 料						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料 等の金額の合計額		D 円	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険 料等)に当てはめて計算した金額		⑥	(最高40,000円)	計(⑥+⑦) ⑧	(最高40,000円) 円
(a)のうち旧保険料 等の金額の合計額		E 円	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険 料等)に当てはめて計算した金額		⑦	(最高50,000円)	⑦と⑧のいずれ か大きい金額 ⑨	円

一般の生命保険料から記入してみましょう

計算式Ⅰ(新保険料等) ※			
A、C又はDの金額	控除額の計算式	25,000円以下	B又はEの金額
20,000円以下	A、C又はDの金額	25,000円以下	B又はEの金額
20,001円から40,000円まで	A、C又はD×1/2+10,000円	25,001円から50,000円まで	B又はE×1/2+12,500円
40,001円から80,000円まで	A、C又はD×1/4+20,000円	50,001円から100,000円まで	B又はE×1/4+25,000円
80,001円以上	一律に40,000円	100,001円以上	一律に50,000円

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類 (目 的)	保 険 期 間	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	地 震 保 険 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 険 料 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、主たる区分 に係る金額(分配を受けた剰 余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				地 震 ・ 旧 長 期	円	
				地 震 ・ 旧 長 期		
④のうち地震保険料の金額の合計額					⑤ 円	
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					⑥ 円	
地震保険料 控 除 額					⑦ 円	

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類 (目 的)	保 険 期 間	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	地 震 保 険 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 険 料 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、主たる区分 に係る金額(分配を受けた剰 余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				地 震 ・ 旧 長 期	円	
				地 震 ・ 旧 長 期		
④のうち地震保険料の金額の合計額					⑤ 円	
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					⑥ 円	
地震保険料 控 除 額					⑦ 円	

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類 (目 的)	保 険 期 間	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	地 震 保 険 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 険 料 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、主たる区分 に係る金額(分配を受けた剰 余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				地 震 ・ 旧 長 期	円	
				地 震 ・ 旧 長 期		
④のうち地震保険料の金額の合計額					⑤ 円	
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					⑥ 円	
地震保険料 控 除 額					⑦ 円	

平成 30 年 分給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

給与の支払者の法人番号

給与の支払者の所在地(住所)

(フリガナ)あなたの氏名

あなたの住所又は居所

サ 佐 東京

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類	保 険 期 間 又 は 年 金 支 払 期	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 険 金 等 の 受 取 人 の 氏 名	新・旧 の 区 分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円)	計(①+②) ③ (最高40,000円) 円	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		② (最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④ 円	
						(a) 円	
						(a) 円	
(a)の金額の合計額		C 円	Cの金額を下の計算式Ⅲ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円)	円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	

(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D 円	④ (最高40,000円)	計(①+②) ③ (最高40,000円) 円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E 円	⑤ (最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④ 円
計算式Ⅰ(新保険料等) ※		計算式Ⅱ(旧保険料等) ※	
A、C又はDの金額		控除額の計算式	
20,000円以下		A、C又はDの金額	
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2+10,000円	
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4+20,000円	
80,001円以上		一律に40,000円	

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書(一般用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料 (a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考> 1 2月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 □□生命保険

毎年9月末から10月頃にかけて
保険会社からご自宅に届くハガキです

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

給与の支払者の法人番号

給与の支払者の所在地(住所)

あなたの氏名

あなたの住所又は居所

東京都

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名	新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
			佐々木康貴		新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円)	計(①+②) ③ (最高40,000円)	円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		② (最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④	円
					(a)	円	
					(a)	円	
(a)の金額の合計額		C 円	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円)	円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D 円	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑥ (最高40,000円)	計(④+⑤) ⑦ (最高40,000円)	円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E 円	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑧ (最高50,000円)	⑧と⑦のいずれか大きい金額 ⑨	円

計算式Ⅰ(新保険料等) ※		計算式Ⅱ(旧保険料等) ※	
A、C又はDの金額	控除額の計算式	B又はEの金額	控除額の計算式
20,000円以下	A、C又はDの金額	25,000円以下	B又はEの金額
20,001円から40,000円まで	$A、C又はD \times 1/2 + 10,000$ 円	25,001円から50,000円まで	$B又はE \times 1/2 + 12,500$ 円
40,001円から80,000円まで	$A、C又はD \times 1/4 + 20,000$ 円	50,001円から100,000円まで	$B又はE \times 1/4 + 25,000$ 円
80,001円以上	一律に40,000円	100,001円以上	一律に50,000円

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書(一般用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料 (a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考> 1 2月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 □□生命保険

合 計 (控 除 額)		円
種 類		あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金		円
独立行政法人労働者生活安定基金の掛金		円
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金		円
合 計 (控 除 額)		円

ご契約者を記入します

平成 30 年 分給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

給与の支払者の法人番号

給与の支払者の所在地(住所)

(フリガナ)あなたの氏名

あなたの住所又は居所

サ 佐 東京

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類	保 険 期 間 又 は 年 金 支 払 期	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 険 金 等 の 受 取 人		新・旧 の 区 分	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印	
				氏 名	あなたとの続柄		(a)	
一 般 の 生 命 保 険 料			佐々木康貴	佐々木和子		新・旧	(a)	円
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計（①＋②）	③ (最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額	④
介 護 医 療 保 険 料							(a)	円
							(a)	
	(a)の金額の合計額	C	Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)		円
個 人 年 金 保 険 料						新・旧	(a)	円
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計（④＋⑤）	⑥ (最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤	(最高50,000円)	④と⑤のいずれか大きい金額	⑦
計算式Ⅰ（新保険料等）※				計算式Ⅱ（旧保険料等）※				
A、C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額の計算式		
20,000円以下		A、C又はDの金額		25,000円以下		B又はEの金額		
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2＋10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2＋12,500円		
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4＋20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4＋25,000円		
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円		

合 計 （ 控 除 額 ）		円
種 類		あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金		円
労働者災害共済制度（労働者災害共済等）の掛金		円
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金		円
合 計 （ 控 除 額 ）		円

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書（一般用）

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料 (a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考> 1 2 月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 □□生命保険

受取人を記入します

平成30年分 給与所得者の保険料控除申告書

給与の支払者の法人番号

給与の支払者の所在地(住所)

(フリガナ)あなたの氏名

あなたの住所又は居所

東京都

保 險 会 社 等 称 の 名 称	保 險 等 の 種 類	保 險 期 間 又 年 金 支 払 期 間 は 払 開 契 約 者 の 氏 名	保 險 金 等 の 受 取 人		新・旧の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額（分配を受け た剰余金等の控除後の金額）	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
			氏 名	あなたとの 続 柄			
一 般 の 生 命 保 険 料			佐々木康貴	佐々木和子	妻	新・旧	(a) 円
						新・旧	(a)
						新・旧	(a)
						新・旧	(a)
	(a)のうち新保険料 等の金額の合計額	A 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険 料等）に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円) 円	計（①＋②）③ (最高40,000円) 円	
(a)のうち旧保険料 等の金額の合計額	B 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険 料等）に当てはめて計算した金額		② (最高50,000円) 円	②と③のいずれ か大きい金額 ④ 円		
介 護 医 療 保 険 料						(a) 円	
						(a)	
	(a)の金額の合計額	C 円	Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険 料等）に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円) 円		
個 人 年 金					新・旧	(a) 円	
				支払開始日	・ ・	新・旧	(a)
				支払開始日	・ ・	新・旧	(a)

合計(控除額)		円
種類		あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金		円
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金		円
合計(控除額)		円

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書(一般用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料(a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考> 12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 □□生命保険

受取人とあなたの続柄を記入します

平成 30 年 分給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

給与の支払者の法人番号

給与の支払者の所在地(住所)

(フリガナ)あなたの氏名

あなたの住所又は居所

東京

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類	保 険 期 間 又 は 年 金 支 払 期	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 険 金 等 の 受 取 人 の 氏 名	新・旧 の 区 分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
□□生命保険			佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円)	計(①+②) ③ (最高40,000円)	円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		② (最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④	円
						(a) 円	
						(a) 円	
(a)の金額の合計額		C 円	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円)	円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D 円	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑥ (最高40,000円)	計(④+⑤) ⑦ (最高40,000円)	円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E 円	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑧ (最高50,000円)	⑧と⑦のいずれか大きい金額 ⑨	円

計算式Ⅰ(新保険料等) ※		計算式Ⅱ(旧保険料等) ※	
A、C又はDの金額	控除額の計算式	B又はEの金額	控除額の計算式
20,000円以下	A、C又はDの金額	25,000円以下	B又はEの金額
20,001円から40,000円まで	$A、C又はD \times 1/2 + 10,000$ 円	25,001円から50,000円まで	$B又はE \times 1/2 + 12,500$ 円
40,001円から80,000円まで	$A、C又はD \times 1/4 + 20,000$ 円	50,001円から100,000円まで	$B又はE \times 1/4 + 25,000$ 円
80,001円以上	一律に40,000円	100,001円以上	一律に50,000円

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書(一般用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料 (a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考> 1 2月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保険

合 計 (控 除 額)		円
種 類		あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金		円
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金		円
合 計 (控 除 額)		円

保険会社名を記入します

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

給与の支払者の法人番号

給与の支払者の所在地(住所)

(フリガナ)あなたの氏名

あなたの住所又は居所

東京

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人氏名	新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
□□生命保険	医療保険		佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	A 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円) 円	計(①+②) ③ (最高40,000円) 円		
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	B 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		② (最高30,000円) 円	②と③のいずれか大きい金額 ④ 円		
					(a) 円		
					(a) 円		
(a)の金額の合計額	C 円	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円) 円			
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D 円	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑥ (最高40,000円) 円	計(⑥+⑦) ⑧ (最高40,000円) 円		
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E 円	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑦ (最高30,000円) 円	⑦と⑧のいずれか大きい金額 ⑨ 円		
計算式Ⅰ(新保険料等) ※		計算式Ⅱ(旧保険料等) ※					
A、C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額	
20,000円以下		A、C又はDの金額		25,000円以下		B又はEの金額	
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2+12,500円	
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4+25,000円	
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円	

合計(控除額)	円
種 別	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	円
合計(控除額)	円

〇〇年分 生命保険控除証明書(一般用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料(a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考> 1 2月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 □□生命保険

保険の種類を記入します

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

給与の支払者の法人番号

給与の支払者の所在地(住所)

(フリガナ)あなたの氏名

あなたの住所又は居所

東京

保 険 会 社 等 の 名 称		保 険 等 の 種 類	保 険 期 間 又 は 年 金 支 払 期	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 険 金 等 の 受 取 人		新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額（分配を受けた剰余金等の控除後の金額）	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
					氏 名	あなたとの続 柄		(a)	
一 般 の 生 命 保 険 料	□□生命保険		医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a)	円
							新・旧	(a)	
							新・旧	(a)	
							新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	円	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計（①＋②）③	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	円	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額	④
								(a)	円
								(a)	
(a)の金額の合計額		C	円	Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)	計（⑤＋⑥）⑦	
個 人 年 金 保 険 料							新・旧	(a)	円
							新・旧	(a)	

合 計 (控 除 額)		円
種 類		あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金		円
日本年金機構の共済契約の掛金		円
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金		円
合 計 (控 除 額)		円

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書（一般用）

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料 (a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考> 1 2 月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 ☐☐生命保険

保険期間を記入します

平成30年分 給与所得者の保険料控除申告書

給与の支払者の法人番号

給与の支払者の所在地(住所)

(フリガナ)あなたの氏名

あなたの住所又は居所

税務署長

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人		新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印	
				氏名	あなたとの続柄				
□□生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子	妻	新・旧	(a)	円	
						新・旧	(a)		
						新・旧	(a)		
						新・旧	(a)		
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②)③	(最高40,000円)	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額④	円	
介護医療保険料							(a)	円	
							(a)	円	
(a)の金額の合計額		C	Cの金額を下の計算式Ⅲ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)	円		
個人年金保険料							新・旧	(a)	円
							新・旧	(a)	円
							(a)	円	

〇〇年分 生命保険控除証明書(一般用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料(a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考> 12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 □□生命保険

適用制度を確認して新・旧のどちらかに丸をつけてください
保険会社によって表示方法が違うので気をつけてください

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

平成30年分 給与所得者の保

保険料控除申告書

給与の支払者の法人番号
給与の支払者の所在地(住所)

(フリガナ) あなたの氏名
あなたの住所又は居所

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名	新・旧	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給付金の確認
〇〇生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a) 128,962 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額 A		Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額 ①		(最高40,000円)		計(①+②) ③	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額 B		Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額 ②		(最高30,000円)		②と③のいずれか大きい金額 ④	
(a)の金額の合計額 C		Cの金額を下の計算式Ⅲ(新保険料等)に当てはめて計算した金額 ⑤		(最高40,000円)			

〇〇年分 生命保険控除証明書(一般用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	旧制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	医療保険
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	終身

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料(a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	98,917円	0円	98,917円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

<ご参考>

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	128,962円	0円	128,962円
介護医療	※※※※※	※※※※※	※※※※※

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇生命保険

控除申告額を記入します

証明額と申告額と二つ金額がありますが
必ず申告額を記入してください

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

保険料控除申告書

給与の支払者の法人番号	※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。									
給与の支払者の所在地(住所)										

(フリガナ)
あなたの氏名
あなたの住所
又は居所

ササキ ヤスタカ

佐々木 康貴



東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階



保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人		新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
				氏名	あなたとの続柄			
☐ 生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子	妻	新・旧	(a) 128,962 円	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下(計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額)		①	(最高40,000円)	計(①+②) ③	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下(計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額)		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④	円
(a)の金額の合計額		C	Cの金額を下(計算式Ⅲ(新保険料等)に当てはめて計算した金額)		⑤	(最高40,000円)	円	

保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等契約者の氏名	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
	地震保険料又は旧長期損害保険料			円	
	地震・旧長期				
	地震・旧長期				
④のうち地震保険料の金額の合計額				⑤	円
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額				⑥	円
地震保険料控除額				$\left(\text{⑤の金額} \right) + \left(\text{⑥の金額} \times \frac{1}{2} + 5,000 \text{円} \right) \times \frac{1}{2}$ ※ (最高15,000円)	
				(最高50,000円)	

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人	あなたが本年中に支払った保険料の金額
		氏名	あなたとの続柄

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

一般の生命保険料の記入は以上です
保険料金の計算欄は記入不要です

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

保険料控除申告書

税務署長		給与の支払者の法人番号										※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。										(フリガナ) あなたの氏名		ササキ ヤスタカ	
																								佐々木 康貴	
		給与の支払者の所在地(住所)																						あなたの住所又は居所	
																								東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階	



保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名		新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)		給与の支払者の確認印
				氏名	あなたとの続柄		(a)		
一般の生命保険料	☐ 生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a)	128,962	
						新・旧	(a)		
						新・旧	(a)		
						新・旧	(a)		
						新・旧	(a)		
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②)③	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額④	円
介護医療保険料							(a)	円	
							(a)		
	(a)の金額の合計額	C	円	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)		円
個人年金保険料						新・旧	(a)	円	
						新・旧	(a)		
						新・旧	(a)		
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	円	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(①+②)③	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	円	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額⑥	円

保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の契約者の氏名		あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
			氏名	あなたとの続柄		
地震保険料控除					地震保険料又は旧長期損害保険料区分	
					地震・旧長期	円
					地震・旧長期	
					地震・旧長期	
④のうち地震保険料の金額の合計額					⑤	円
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					⑥	円
地震保険料控除額		⑤の金額(最高50,000円) + ⑥の金額(⑥の金額が10,000円を超える場合は、⑥×1/2+5,000円)※				(最高15,000円)
		=				(最高50,000円)
社会保険料控除	社会保険の種類	保険料支払先の名称	あなたが本年中に支払った保険料の金額			
			氏名	あなたとの続柄		円
合 計 (控除額)						円

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

次は介護医療保険料を記入してみましょう

計算式Ⅰ(新保険料等) ※			
A、C又はDの金額		控除額の計算式	
20,000円以下		A、C又はDの金額	25,000円以下
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2+10,000円	25,001円から50,000円まで
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4+20,000円	50,001円から100,000円まで
80,001円以上		一律に40,000円	100,001円以上

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

(フリガナ) あなたの氏名	ササキ 佐々木
あなたの住所 又は居所	東京都港区 青山

保険料控除申告書		(フリガナ) あなたの氏名	ササキ 佐々木
		あなたの住所 又は 居所	東京都港区 青山
税務署長	給与の支払者の 法 人 番 号 給与の支払者の 所 在 地 (住 所)	※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。	

新・旧 の 区 分	保険金等の受取人		保険等の種類	保険等の 契約者の氏名	保険期間 又は年金支払 期間	保険会社等 の 名称	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額（分配を受けた 剰余金等の控除後の金額）	給与の 支払者の 確認印
	氏名	あなたとの 続柄						
新・旧 (a)	128,962	円	医療保険	佐々木康貴	終身	□□生命保険		
新・旧 (a)				佐々木和子				
新・旧 (a)								
新・旧 (a)								
(a)のうち新保険料 等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険 料等用）に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計（①＋②）	③ (最高40,000円)
(a)のうち旧保険料 等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険 料等用）に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれ か大きい金額	④
			佐々木康貴		佐々木和子		(a)	円
							(a)	
(a)の金額の合計額		C				⑤ (最高40,000円)	⑤	円
							(a)	円
							(a)	
							(a)	

新・旧	新・旧	新・旧	新・旧
①のうち新保険料等の全額合計額	D	②のうち旧保険料等の全額合計額	E
③のうち新保険料等の全額合計額	E	④のうち旧保険料等の全額合計額	F
計算式Ⅰ（新保険料等用）※	計算式Ⅱ（旧保険料等用）※	計算式Ⅲ（新・旧保険料等用）※	計算式Ⅳ（新・旧保険料等用）※
A: ①の全額	B: ②の全額	C: ③の全額	D: ④の全額
E: ⑤の全額	F: ⑥の全額	G: ⑦の全額	H: ⑧の全額
20,000円以下	A, C又はDの全額	25,000円以下	B又はEの全額
20,001円から40,000円まで	A, C又はD×1/2+10,000円	25,001円から50,000円まで	B又はE×1/2+12,500円
40,001円から80,000円まで	A, C又はD×1/4+20,000円	50,001円から100,000円まで	B又はE×1/4+25,000円
80,001円以上	一律に40,000円	100,001円以上	一律に50,000円

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	〇〇型医療還付
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	10年

	保険料 (a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	※※※※※	※※※※※	※※※※※
介護医療	22,246円	0円	22,246円

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	※※※※※	※※※※※	※※※※※
介護医療	44,492円	0円	44,492円

□□生命保險

ください。

受取人を記入します

平成30年分 給与所得者の保険料

保険料控除申告書

給与の支払者の法人番号		※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。		(フリガナ) あなたの氏名	ササキ 佐々木
給与の支払者の所在地(住所)				あなたの住所又は居所	東京都港区 青山

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名	新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
□□生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a) 128,962 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A 円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円)	計(①+②) ③ (最高40,000円)	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B 円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		② (最高30,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④ 円	
(a)の金額の合計額		C 円	Cの金額を下の計算式Ⅲ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円)	⑤ 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D 円	Dの金額を下の計算式Ⅳ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑥ (最高40,000円)	計(⑤+⑥) ⑦ (最高40,000円)	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E 円	Eの金額を下の計算式Ⅴ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑧ (最高30,000円)	⑧と⑦のいずれか大きい金額 ⑨ 円	
計算式Ⅰ(新保険料等) ※		A又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額	
20,000円以下		A、C又はDの金額		25,000円以下		B又はEの金額	
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2+12,500円	
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4+25,000円	
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円	

受取人とあなたの続柄を記入します

〇〇年分 生命保険控除証明書(介護用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	〇〇型医療還付
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	10年

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料 (a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	※※※※※	※※※※※	※※※※※
介護医療	22,246円	0円	22,246円

<ご参考>

12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	※※※※※	※※※※※	※※※※※
介護医療	44,492円	0円	44,492円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保険

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

平成30年分 給与所得者の保険料

保険料控除申告書

給与の支払者の法人番号		※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。		(フリガナ) あなたの氏名	ササキ 佐々木
給与の支払者の所在地(住所)				あなたの住所又は居所	東京都港区 青山

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名	新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
□□生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a) 128,962 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	A	円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額	① (最高40,000円)	計(①+②) ③	(最高40,000円)	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	B	円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額	② (最高30,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④	円	
□□生命保険			佐々木康貴	佐々木和子 妻	(a)	円	
(a)の金額の合計額	C	円	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額	⑤ (最高40,000円)	円		
個人年金保険					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D	円	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額	⑥ (最高40,000円)	計(①+②) ③	(最高40,000円)	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E	円	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額	⑦ (最高30,000円)	⑦と⑧のいずれか大きい金額 ⑧	円	
計算式Ⅰ(新保険料等) ※		計算式Ⅱ(旧保険料等) ※					
A、C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額	
20,000円以下		A、C又はDの金額		25,000円以下		B又はEの金額	
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2+12,500円	
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4+25,000円	
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円	

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書(介護用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	〇〇型医療還付
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	10年

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料 (a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	※※※※※	※※※※※	※※※※※
介護医療	22,246円	0円	22,246円

<ご参考>

12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	※※※※※	※※※※※	※※※※※
介護医療	44,492円	0円	44,492円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保険

保険会社名を記入します

種 類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	円
合 計 (控除額)	円

平成30年分 給与所得者の保険料

保険料控除申告書

給与の支払者の法人番号		※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。		(フリガナ) あなたの氏名		ササキ 佐々木	
給与の支払者の所在地(住所)				あなたの住所又は居所		東京都港区 青山	

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名	新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
一般の生命保険料	生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a) 128,962 円
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	A	円	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②) ③
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	B	円	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④
介護医療保険料	生命保険	〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧	(a) 円
(a)の金額の合計額	C	円	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)	計(④+⑤) ⑥
個人年金保険料					新・旧	(a) 円	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D	円	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑦	(最高40,000円)	計(⑥+⑦) ⑧
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E	円	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑧	(最高50,000円)	⑧と⑨のいずれか大きい金額 ⑩

地震保険料	地震保険料控除額
社会保険料	社会保険料の種類

計算式Ⅰ(新保険料等) ※	計算式Ⅱ(旧保険料等)
A、C又はDの金額	控除額の計算式
20,000円以下	A、C又はDの金額
20,001円から40,000円まで	A、C又はD×1/2+10,000円
40,001円から80,000円まで	A、C又はD×1/4+20,000円
80,001円以上	一律に40,000円

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書(介護用)

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	保険種類	〇〇型医療還付
契約日	平成〇〇年〇月〇日	払込方法	月払
保険金等受取人	佐々木 和子 様	保険期間	10年

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

	保険料(a)	配当金(b)	証明額(a-b)
一般	※※※※※	※※※※※	※※※※※
介護医療	22,246円	0円	22,246円

<ご参考>

12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

	保険料(c)	配当金(d)	申告額(c-d)
一般	※※※※※	※※※※※	※※※※※
介護医療	44,492円	0円	44,492円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇生命保険

保険期間を記入します

保険料控除申告書

平成30年分 給与所得者の保険料控除 申告書

個人年金保険料を記入してみましょう

生命保険料控除

個人年金保険料

保険料

控除

申告

書

様式

第1号

(フリガナ)
あなたの氏名

ササキ ヤスタカ
佐々木 康貴



あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

あなたの住所
又は 居所

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

あなたの氏名

佐々木 康貴

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

等 保 險 等 の 保 險 契 約 者 の 氏 名	地 震 保 險 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 險 料 分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、主たる区分に係る金額（分配を受けた側金額等の控除後の金額）	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
保 險 契 約 者 の 氏 名	地 震 保 險 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 險 料 分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、主たる区分に係る金額（分配を受けた側金額等の控除後の金額）	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
保 險 契 約 者 の 氏 名	地 震 保 險 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 險 料 分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、主たる区分に係る金額（分配を受けた側金額等の控除後の金額）	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
保 險 契 約 者 の 氏 名	地 震 保 險 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 險 料 分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、主たる区分に係る金額（分配を受けた側金額等の控除後の金額）	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印

料 控 除	④のうち地震保険料の金額の合計額	⑤のうち旧長期損害保険料の金額の合計額
料 控 除	④のうち地震保険料の金額の合計額	⑤のうち旧長期損害保険料の金額の合計額
料 控 除	④のうち地震保険料の金額の合計額	⑤のうち旧長期損害保険料の金額の合計額
料 控 除	④のうち地震保険料の金額の合計額	⑤のうち旧長期損害保険料の金額の合計額

社会 保 險 料 控 除	社会 保 險 の 種 類	保 險 料 支 払 先 の 名 称	保険料を負担することになっている人	あなたが本年中に支払った保険料の金額
社会 保 險 料 控 除	社会 保 險 の 種 類	保 險 料 支 払 先 の 名 称	保険料を負担することになっている人	あなたが本年中に支払った保険料の金額
社会 保 險 料 控 除	社会 保 險 の 種 類	保 險 料 支 払 先 の 名 称	保険料を負担することになっている人	あなたが本年中に支払った保険料の金額
社会 保 險 料 控 除	社会 保 險 の 種 類	保 險 料 支 払 先 の 名 称	保険料を負担することになっている人	あなたが本年中に支払った保険料の金額

小 規 模 企 業 共 済 等 掛 金 控 除	種 類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
小 規 模 企 業 共 済 等 掛 金 控 除	種 類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
小 規 模 企 業 共 済 等 掛 金 控 除	種 類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
小 規 模 企 業 共 済 等 掛 金 控 除	種 類	あなたが本年中に支払った掛金の金額

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

保険料控除申告書

ご契約者を記入します

生命保険料控除	保険料	(a)のうち新保険料等の金額の合計額	A	円	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額	①	(最高40,000円)	円	計(①+②)③	(最高40,000円)	円
		(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	B	円	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額	②	(最高50,000円)	円	②と③のいずれか大きい金額	④	円
介護医療保険料控除	□□生命保険	〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子	妻	(a)	円			
							(a)	円			
個人年金保険料控除	(a)の金額の合計額	C	円				Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑤	(最高40,000円)	円	
				佐々木康貴			支払開始日	・	新・旧	(a)	円
							支払開始日	・	新・旧	(a)	円
							支払開始日	・	新・旧	(a)	円
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D	円				Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑥	(最高40,000円)	円	
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E	円				Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額	⑦	(最高50,000円)	円	
	計算式Ⅰ（新保険料等）※	計算式Ⅱ（旧保険料等）※					生命保険料控除額計(④+⑥+⑦)(最高120,000円)				円
	A、C又はDの金額	控除額の計算式					B又はEの金額	控除額の計算式			
	20,000円以下	A、C又はDの全額					25,000円以下	B又はEの全額			
	20,001円から40,000円まで	A、C又はD×1/2+10,000円					25,001円から50,000円まで	B又はE×1/2+12,500円			
	40,001円から80,000円まで	A、C又はD×1/4+20,000円					50,001円から100,000円まで	B又はE×1/4+25,000円			
	80,001円以上	一律に40,000円					100,001円以上	一律に50,000円			

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書（個人年金用）

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	年金種類	確定年金
契約日	平成27年10月10日	払込方法	月払
年金受取人	佐々木 康貴 様	年金受取人生年月日	昭和50年12月12日
年金支払期間	30年	年金支払開始日	平成57年10月10日

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金証明額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 180,000円	0円	個人年金証明額 180,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円

＜ご参考＞ 12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金申告額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 240,000円	0円	個人年金申告額 240,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保険

社会保険料控除	社会保険の種類	保の
小規模企業共済等掛金控除	独立行政法人中ノ	
	確定拠出年金法	
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
	合 計（控除額）	円

清 等 掛 金 控 除	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
	合 計（控除額）	円

年金の種類を記入します

生命保険料控除	保険料						新・旧				料		③のうち地震保険料の		
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		①		(最高40,000円)		計（①＋②）		③		(最高40,000円)	
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		②		(最高50,000円)		②と③のいずれか大きい金額		④		円	
	□□生命保険		〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子	妻	(a)		円		地震保険料控除額		③の金額	
	(a)の金額の合計額		C					(a)							
	□□生命保険		確定年金	佐々木康貴				新・旧		(a)					
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		④		(最高40,000円)		計（④＋⑤）		⑥		(最高40,000円)	
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤		(最高50,000円)		⑤と⑥のいずれか大きい金額		⑦		円	
	計算式Ⅰ（新保険料等）※		計算式Ⅱ（旧保険料等）※		生命保険料控除額計（④＋⑤＋⑦）		(最高120,000円)								
	A、C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額の計算式								
20,000円以下		A、C又はDの全額		25,000円以下		B又はEの全額									
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2＋10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2＋12,500円									
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4＋20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4＋25,000円									
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円									

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	年金種類	確定年金
契約日	平成27年10月10日	払込方法	月払
年金受取人	佐々木 康貴 様	年金受取人生年月日	昭和50年12月12日
年金支払期間	30年	年金支払開始日	平成57年10月10日

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

		保険料	配当金	証明額
旧 制 度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金証明額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円
新 制 度	年金	個人年金保険料 180,000円	0円	個人年金証明額 180,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円

＜ご参考＞ 12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金申告額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 240,000円	0円	個人年金申告額 240,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保險

確定拠出年金法

確定拠出年金法

心身障害者扶

合 計 (控除額)

円

保險料控除申告書

年金支払期間を記入します

生命保険料控除	保険料						新・旧				料		③のうち地震保険料の		
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		①		(最高40,000円)		計（①＋②）		③		(最高40,000円)	
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		②		(最高50,000円)		②と③のいずれか大きい金額		④			
	□□生命保険		〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子	妻			(a)				円	
										(a)				円	
	(a)の金額の合計額		C					Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤		(最高40,000円)		円	
	□□生命保険		確定年金	30年	佐々木康貴			新・旧		(a)				円	
								新・旧		(a)				円	
								新・旧		(a)				円	
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		④		(最高40,000円)		計（④＋⑤）		⑥		(最高40,000円)	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤		(最高50,000円)		⑤と⑥のいずれか大きい金額		⑦				
計算式Ⅰ（新保険料等）※				計算式Ⅱ（旧保険料等）※				生命保険料控除額計（④＋⑤＋⑦）（最高120,000円）							
A、C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額の計算式									
20,000円以下		A、C又はDの全額		25,000円以下		B又はEの全額									
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2＋10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2＋12,500円									
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4＋20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4＋25,000円									
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円									

〇〇年分 生命保険控除証明書（個人年金用）

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	年金種類	確定年金
契約日	平成27年10月10日	払込方法	月払
年金受取人	佐々木 康貴 様	年金受取人生年月日	昭和50年12月12日
年金支払期間	30年	年金支払開始日	平成57年10月10日

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

		保険料	配当金	証明額
旧 制 度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金証明額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円
新 制 度	年金	個人年金保険料 180,000円	0円	個人年金証明額 180,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円

＜ご参考＞ 12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金申告額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 240,000円	0円	個人年金申告額 240,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保險

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

四

保険料控除申告書

契約者と年金受取人の
続柄を記入します

生命保険料控除	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)		計(①+②)③	(最高40,000円)
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)		②と③のいずれか大きい金額④	(最高40,000円)
	□□生命保険	〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子	妻	(a)	(a)		
	(a)の金額の合計額		C	Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)			
	□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	(a)	(a)		
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		⑥	(最高40,000円)		計(④+⑤)⑦	(最高40,000円)
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		⑧	(最高50,000円)		⑦と⑧のいずれか大きい金額⑨	(最高40,000円)
	計算式Ⅰ（新保険料等）※		計算式Ⅱ（旧保険料等）※		生命保険料控除額計(④+⑤+⑦+⑧)(最高120,000円)					
	A、C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額の計算式			
	20,000円以下		A、C又はDの全額		25,000円以下		B又はEの全額			
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2+12,500円				
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4+25,000円				
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円				

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書（個人年金用）

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇	年金種類	確定年金
契約日	平成27年10月10日	払込方法	月払
年金受取人	佐々木 康貴 様	年金受取人生年月日	昭和50年12月12日
年金支払期間	30年	年金支払開始日	平成57年10月10日

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金証明額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 180,000円	0円	個人年金証明額 180,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円

＜ご参考＞ 12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金申告額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 240,000円	0円	個人年金申告額 240,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保険

小規模企業共済等掛金控除	独立行政法人中	
	確定拠出年金法	
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
	合 計（控除額）	円

保険料控除申告書

適用制度を確認して
新・旧のどちらかに○をつけてください
保険会社によって表示方法が違うので
気をつけてください

平成30年分 給与所得者の保険料控除

(フリガナ)
あなたの氏名

ササキ ヤ
佐々木

東京都港区北青
森山鈴木硝

生命 保険料 控除	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②)	③	(最高40,000円)
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額	④	(最高40,000円)
	□□生命保険	〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子	妻	(a)	円		
	(a)の金額の合計額		C	Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)	計(④+⑤)	⑥	(最高40,000円)
	□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	(a)	円		
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(④+⑤)	⑥	(最高40,000円)
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤	(最高50,000円)	⑤と⑥のいずれか大きい金額	⑦	(最高40,000円)
	計算式Ⅰ（新保険料等）※		計算式Ⅱ（旧保険料等）※		生命保険料控除額計(④+⑤+⑦)(最高120,000円)		円			
	A、C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額の計算式			
	20,000円以下		A、C又はDの全額		25,000円以下		B又はEの全額			
20,001円から40,000円まで		A、C又はD×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2+12,500円				
40,001円から80,000円まで		A、C又はD×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4+25,000円				
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円				

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書（個人年金用）

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇	年金種類	確定年金
契約日	平成27年10月10日	払込方法	月払
年金受取人	佐々木 康貴 様	年金受取人生年月日	昭和50年12月12日
年金支払期間	30年	年金支払開始日	平成57年10月10日

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金証明額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 180,000円	0円	個人年金証明額 180,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円

＜ご参考＞ 12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金申告額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 240,000円	0円	個人年金申告額 240,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保険

社会 保険料 控除	社会保険の種類	保の
	社会保険料控除額	
	小規模企業共済等掛金控除	
	独立行政法人中	

確定拠出年金法

確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金

心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金

合 計 （ 控 除 額 ）

円

保険料控除申告書

控除申告額を記入します
証明額と申告額と二つ金額がありますが
必ず申告額を記入してください

生命保険料		介護医療保険料		個人年金保険料		生命保険料控除額	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	A	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②)③	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	B	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額	④
□□生命保険	〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子	妻	(a)	円
(a)の金額の合計額	C	Cの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(④+⑤)⑥	(最高40,000円)
□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	(a)	240,000
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(④+⑤)⑥	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤	(最高50,000円)	⑤と⑥のいずれか大きい金額	⑦
計算式Ⅰ（新保険料等）※		計算式Ⅱ（旧保険料等）※		生命保険料控除額計(④+⑤+⑦) (最高120,000円)		円	
A、C又はDの金額	控除額の計算式	B又はEの金額	控除額の計算式				
20,000円以下	A、C又はDの全額	25,000円以下	B又はEの全額				
20,001円から40,000円まで	A、C又はD×1/2+10,000円	25,001円から50,000円まで	B又はE×1/2+12,500円				
40,001円から80,000円まで	A、C又はD×1/4+20,000円	50,001円から100,000円まで	B又はE×1/4+25,000円				
80,001円以上	一律に40,000円	100,001円以上	一律に50,000円				

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 生命保険控除証明書（個人年金用）

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇	年金種類	確定年金
契約日	平成27年10月10日	払込方法	月払
年金受取人	佐々木 康貴 様	年金受取人生年月日	昭和50年12月12日
年金支払期間	30年	年金支払開始日	平成57年10月10日

証明日までのお払込額を以下に証明いたします

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金証明額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 180,000円	0円	個人年金証明額 180,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円

＜ご参考＞ 12月末までお払込の場合は下記金額をご申告ください

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金申告額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円
新制度	年金	240,000円		個人年金申告額 240,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

□□生命保険

独立行政法人中	
確定拠出年金法	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計（控除額）	円

個人年金保険料の記入は以上です
保険料金の計算欄は記入不要です

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

ご契約者	佐々木 康貴 様	適用制度	新制度
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	年金種類	確定年金
契約日	平成27年10月10日	払込方法	月払
年金受取人	佐々木 康貴 様	年金受取人生年月日	昭和50年12月12日
年金支払期間	30年	年金支払開始日	平成57年10月10日

		保険料	配当金	証明額
旧 制 度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金証明額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円
新 制 度	年金	個人年金保険料 180,000円	0円	個人年金証明額 180,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般証明額 ※※※※※ 円

		保険料	配当金	証明額
旧制度	年金	個人年金保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	個人年金申告額 ※※※※※ 円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円
新制度	年金	個人年金保険料 240,000円	0円	個人年金申告額 240,000円
	一般	一般生命保険料 ※※※※※ 円	配当金（相当額） ※※※※※ 円	一般申告額 ※※※※※ 円

□□生命保險

確定拠出年金法

確定拠出年金法

心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金

合 計 (控除額)

Р

保険料控除申告書

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

所轄税務署長	給与の支払者の 名 称 (氏 名)	(フ リ ガ ナ) あなたの氏名	ササキ ヤスタカ 佐々木 康貴
	給与の支払者の 法 人 番 号		
税務署長	給与の支払者の 所 在 地 (住 所)	あなたの住所 又 は 居 所	東京都港区北青山 3 - 5 - 1 4 青山鈴木硝子ビル 7 階



保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類	保 険 期 間 又 年 金 支 払 期 間	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 険 金 等 の 受 取 人		新・旧 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額 (分配を受けた 剰余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				氏 名	あなたとの 統 納			
一 般 の 生 命 保 険 料	□□生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子 妻	新・旧 (a)	128,962 円	
						新・旧 (a)		
						新・旧 (a)		
						新・旧 (a)		
	(a)のうち新保険料 等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ (新保険 料等)に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円)	計 (① + ②) ③ (最高40,000円)	
生 命 保 険 料 控 除								
	(a)のうち旧保険料 等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ (旧保険 料等)に当てはめて計算した金額		② (最高50,000円)	②と③のい ずれか大 きい金額 ④	
	□□生命保険	〇〇型 医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子	(a)		
						(a)		
	(a)の金額の合計額		C	Cの金額を下の計算式Ⅲ (新保険 料等)に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円)		
個 人 年 金 保 険 料	□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴 本人	新・旧 (a)	240,000 円	
						新・旧 (a)		
						新・旧 (a)		

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類 (目 的)	保 険 期 間	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名		あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、生損の区分 に属する金額 (分配を受けた剰 余金等の控除後の金額)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
			氏 名	あなたとの 統 納		
地 震 保 険 料 控 除					地 震 ・ 旧 長 期	
					地 震 ・ 旧 長 期	
	Aのうち地震保険料の金額の合計額				B 円	
	Aのうち旧長期損害保険料の金額の合計額				C 円	
	地震保険料 控 除 額				$\left[\begin{array}{l} \text{Bの} \\ \text{金額} \end{array} \right. \left(\text{最高50,000円} \right) + \left[\begin{array}{l} \text{Cの金額} \\ \text{Cの金額が} \\ \text{10,000円を超える場合は、} \\ \text{C} \times 1/2 + 5,000 \text{円} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{最高15,000円} \\ \text{最高50,000円} \end{array} \right]$	
社 会 保 険 料 控 除	社会保険 の 種 類	保険料支払先 の 名 称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に支 払った保険料の金額	
			氏 名	あなたとの統 納		

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

地震保険料控除を記入してみましょう

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

〇〇年分 地震保険料控除証明書

ご契約者	佐々木 康貴 様
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
保険種類	平成27年10月10日
保険の対象	建物
保険期間	平成〇〇年10月10日から平成〇〇年10月10日まで5年間
払込方法	一時払
控除対象保険料	23,306円
	上記保険料は、所得税法第七十七条第一項に規定する地震保険料に該当するものです

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇損害保険

控 除	個 人 年	□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	新旧	(a)	240,000	円
								新・旧	(a)		
									(a)		
保 険 料	科	①のうち新保険料等の金額の合計額	D	②のうち全額を下の計算式①（新保険料等）に当てはめて計算した金額	③	④のうち全額を下の計算式②（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑤	⑥のうち全額を下の計算式③（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑦	⑧のうち全額を下の計算式④（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑨
		①のうち新保険料等の金額の合計額	E	②のうち全額を下の計算式①（新保険料等）に当てはめて計算した金額	③	④のうち全額を下の計算式②（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑤	⑥のうち全額を下の計算式③（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑦	⑧のうち全額を下の計算式④（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑨
		①のうち新保険料等の金額の合計額	F	②のうち全額を下の計算式①（新保険料等）に当てはめて計算した金額	③	④のうち全額を下の計算式②（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑤	⑥のうち全額を下の計算式③（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑦	⑧のうち全額を下の計算式④（新保険料等）に当てはめて計算した金額	⑨

ナ) 氏名	ササキ ヤスタカ 佐々木 康貴	
住所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階	



(保

給与の支払者の確認印	保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の氏名 契約者の氏名 保険等の対象となった家 屋等に居住又は家財を 利用している者等の氏名	の氏名 あなた と統 一の病	地震保険料 又は旧長期 損害保険料 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額(分配を受けた側 の金額)の控除後の金額	給与の 支払者の 確認印	
	地震 保険 料 控 除			佐々木康貴		地震 ・ 旧長期	円		
						地震 ・ 旧長期			
1,000円)	①のうち地震保険料の金額の合計額						②	円	
円	①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額						③	円	
円	地震保険料 控除額	(②の 金額 _____ 円) (最高50,000円)		+ (③の金額 (③の金額が 10,000円を超える場合は、 ③ × 1/2 + 5,000 円) ※ _____ 円)		(最高15,000円)			
		=						(最高50,000円)	円
1,000円)	社会 保 険 料 控 除	社会保険 の種類	保険料支払先 の名称	保険料を負担することになっている人 氏名		あなたとの統制	あなたが本年中に支払った保険料の金額		
円								円	
合 計 (控除額)									

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください

ご契約者を記入します

〇〇年分 地震保険料控除証明書

ご契約者	佐々木 康貴 様
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
保険種類	平成27年10月10日
保険の対象	建物
保険期間	平成〇〇年10月10日から平成〇〇年10月10日まで5年間
払込方法	一時払
控除対象保険料	23,306円
	上記保険料は、所得税法第七十七条第一項に規定する地震保険料に該当するものです

証明日〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇損害保険

控 除	個 人 年	□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	新旧	(a)	240,000	円
								新・旧	(a)		
									(a)		
保 険 料	科	D		E		F		G		H	
		D		E		F		G		H	
		D		E		F		G		H	
計算式1（新保） A又はDの金額 20,000円以下 20,001円から40,000円まで 40,001円から80,000円まで 80,001円以上											

者の保険料控除申告書

ナ) 氏名	ササキ ヤスタカ 佐々木 康貴	
住所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階	

給与の支払者受付

保

給与の支払者の確認印	保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の氏名 契約者の氏名 保険等の対象となった家 屋等に居住又は家財を 利用している者等の氏名	の氏名 あなたと 続柄	地震保険料 又は旧長期 損害保険料 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額(分配を受けた割 金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
	地震 保険 料 控 除	〇〇損害保険		佐々木康貴		地震 ・ 旧長期	円	
					地震 ・ 旧長期			
1,000円)	①のうち地震保険料の金額の合計額						②	円
円	①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額						③	円
円	地震保険料 控除額	$\left(\text{②の金額} \times \frac{\text{③の金額}}{\text{③の金額} + 10,000} \right) + \left(\text{③の金額} \times \frac{10,000}{\text{③の金額} + 10,000} \right) \times \frac{1}{2} + 5,000$						円
1,000円)	=						円	
円	社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人 氏名		あなたとの続柄	あなたが本年中に支払った保険料の金額		
円						円		
合 計 (控除額)								

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください

保険会社名を記入します

〇〇年分 地震保険料控除証明書

ご契約者	佐々木 康貴 様
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
保険種類	平成27年10月10日
保険の対象	建物
保険期間	平成〇〇年10月10日から平成〇〇年10月10日まで5年間
払込方法	一時払
控除対象保険料	23,306円
	上記保険料は、所得税法第七十七条第一項に規定する地震保険料に該当するものです

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇損害保険

控 除																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			</
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

保険の種類を記入します
ほとんどの場合「地震保険」になります

ナ) 氏名	ササキ ヤスタカ 佐々木 康貴	
住所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階	

給与の支払者受付

(保

給与の 支払者の 確認印	保険会社等 の名称	保険等の 種類(目的)	保険 期間	保 険 等 の 氏 名 の 姓	地 震 保 険 料 料 率 又 は 旧 長 期 損 害 保 険 料 率 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額(分配を受けた割 合金額等の控除後の金額)	給与の 支払者の 確認印
	地 震 保 険 料 控 除	〇〇損害保険	地震保険	佐々木康貴	地 震 ・ 旧長期	円	
					地 震 ・ 旧長期		
④のうち地震保険料の金額の合計額						⑤	円
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額						⑥	円
3,000円)	円	(⑤の金額 (最高50,000円)) + (⑥の金額 (⑥の金額が10,000円を超える場合は、 ⑥ × 1/2+5,000円) ※ (最高15,000円))					
円	地震保険料 控 除 額	(最高50,000円)					
		=					

社会 保 険 料 控	社会保険 の種 類	保険料支払先 の 名 称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に支 払った保険料の金額
			氏 名	あなたとの続柄	

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください

〇〇年分 地震保険料控除証明書

ご契約者	佐々木 康貴 様
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
保険種類	平成27年10月10日
保険の対象	建物
保険期間	平成〇〇年10月10日から平成〇〇年10月10日まで5年間
払込方法	一時払
控除対象保険料	23,306円
	上記保険料は、所得税法第七十七条第一項に規定する地震保険料に該当するものです

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇損害保険

[illegible]

保険の期間を記入します

契約内容によって期間が違いますので注意してください

ナ) 氏名	ササキ ヤスタカ 佐々木 康貴	
住所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階	

給与の支払者受付

(保

給与の 支払者の 確認印	保険会社等の 名称	保険等の 種類(目的)	保険 期間	保険等 契約者の氏名 保険等の対象となった家 屋等に居住又は家財を 利用している者等の氏名	の 氏名 あなた と統 病	地震保険料 又は旧長期 損害保険料 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額(分配を受けた側 余金等の控除後の金額)	給与の 支払者の 確認印
	地震 保険 料 控 除	〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴		地震 ・ 旧長期	円
							地震 ・ 旧長期	
3,000円)	①のうち地震保険料の金額の合計額						②	円
円	①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額						③	円
円	地震保険料 控除額	$\left(\begin{array}{l} \text{②の} \\ \text{金額} \end{array} \right. \text{ (最高50,000円)} \left. \right) + \left(\begin{array}{l} \text{③の金額 (③の金額が} \\ 10,000\text{円を超える場合は、} \\ \text{③} \times 1/2 + 5,000\text{円)} \end{array} \right) \times \text{※} \text{ (最高15,000円)}$						
円		= (最高50,000円)						
3,000円)	社会 保険 料 控 除	社会保険 の種類	保険料支払先 の名称	保険料を負担することになっている人 氏名		あなたが本年中に支払 った保険料の金額		
円								
合 計 (控除額)								

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください

保険料控除申告書

〇〇年分 地震保険料控除証明書

ご契約者	佐々木 康貴 様
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
保険種類	平成27年10月10日
保険の対象	建物
保険期間	平成〇〇年10月10日から平成〇〇年10月10日まで5年間
払込方法	一時払
控除対象保険料	23,306円 上記保険料は、所得税法第七十七条第一項に規定する地震保険料に該当するものです

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇損害保険

控除	個人	生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	新・旧	(a)	240,000	円
	年							新・旧	(a)		
	金							新・旧	(a)		

「地震保険」「旧長期」のいずれかに○をします
こちらほとんどの場合「地震」になります

者の保険料控除申告書

氏名	ササキ ヤスタカ 佐々木 康貴
住所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階



給与の支払者等印	保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の氏名	地震保険料又は旧長期損害保険料区分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、左欄の区分に係る金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
	〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地震 旧長期	円	
	①のうち地震保険料の金額の合計額					②	円
	①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					③	円
	地震保険料控除額					②の金額 (最高50,000円) + ③の金額 (③の金額が10,000円を超える場合は、③ × 1/2 + 5,000円) ※ (最高15,000円) = (最高50,000円) 円	
	社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に支払った保険料の金額		
			氏名		あなたとの続柄	円	
	合計 (控除額)						円

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

〇〇年分 地震保険料控除証明書

ご契約者	佐々木 康貴 様
証券番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
保険種類	平成27年10月10日
保険の対象	建物
保険期間	平成〇〇年10月10日から平成〇〇年10月10日まで5年間
払込方法	一時払
控除対象保険料	23,306円
	上記保険料は、所得税法第七十七条第一項に規定する地震保険料に該当するものです

証明日〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇損害保険

控除 個人 年	□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴 支払開始日	本人	新旧	(a)	240,000 円
							新・旧	(a)	
								(a)	
全 保 険 料	①のうち新保険料 等の全額の合計額	D	円	②のうち全額を下の計算式①（新保険 料等）に当てはめて計算した全額	③	円	④と⑤の合計額	⑥	円
	①のうち新保険料 等の全額の合計額	E	円	②のうち全額を下の計算式②（新保険 料等）に当てはめて計算した全額	⑦	円	⑧と⑨の合計額	⑩	円
	計算式① A×又はDの全額			計算式② B×又はEの全額					
	20,000円以下	A、C又はDの全額	25,000円以下	B又はEの全額					
	20,001円から40,000円まで	A、C又はD×1/2+10,000円	25,001円から50,000円まで	B又はE×1/2+12,500円					
	40,001円から80,000円まで	A、C又はD×1/4+20,000円	50,001円から100,000円まで	B又はE×1/4+25,000円					
	80,001円以上	一律に40,000円	100,001円以上	一律に50,000円					

ナ) 氏名	ササキ ヤスタカ 佐々木 康貴	
住所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階	

給与の支払者受付

(保

給与の 支払者の 確認印	保険会社等の 名称	保険等の 種類(目的)	保険 期間	保険等 の氏名 の氏名 保険等の対象となった家 屋等に居住又は家財を 利用している者等の氏名	地震保険料 又は旧長期 損害保険料 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額(分配を受けた側 の金額)	給与の 支払者の 確認印	
	地震 保険 料 控 除	○○損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地震 旧長期	23,306	円
						地震 旧長期		
		①のうち地震保険料の金額の合計額						②
	①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額						③	円
	地震保険料 控除額	$\left(\begin{array}{l} \text{②の} \\ \text{金額} \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{l} \text{③の金額 (③の金額が} \\ \text{10,000円を超える場合は、} \\ \text{③} \times 1/2 + 5,000 \text{円)} \end{array} \right) \times \text{※} = \text{④ (最高50,000円)}$					円	
社会 保険 料 控	社会保険 の種類	保険料支払先 の名称	保険料を負担することになっている人 氏名		あなたが本年中に支 払った保険料の金額			円
								円
								円
								円
								円
合 計 (控除額)								円

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください

控除対象保険料を記入します

保険料控除申告書

平成 30 年 分 給 与 所 得 者 の 保 険 料 控 除 申 告 書

所轄税務署長	給与の支払者の 名称（氏名）	(フリガナ) あなたの氏名	ササキ ヤスタカ 佐々木 康貴
税務署長	給与の支払者の 法人番号	あなたの住所 又は居所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階
	給与の支払者の 所在地（住所）		



保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類	保 険 期 間 又 年 金 支 払 期	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 険 金 等 の 受 取 人		新・旧 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額（分配を受けた 剰余金等の控除後の金額）	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				氏 名	あなたとの 続 柄			
□□生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子	妻	新・旧	(a) 128,962 円	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②) ③	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額 ④	円
□□生命保険	〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子	妻		(a)	円
							(a)	
(a)の金額の合計額		C	Cの金額を下の計算式Ⅲ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		⑤	(最高40,000円)	⑤	円
□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	新・旧	(a) 240,000 円	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額		⑥	(最高40,000円)	計(⑥+⑦) ⑧	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額		⑦	(最高50,000円)	⑧と⑨のいずれか大きい金額 ⑩	円

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類 (目的)	保 険 期 間	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名		あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、生損の区分 に属する金額（分配を受けた剰 余金等の控除後の金額）	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
			あなた の 続 柄	あなた の 続 柄		
〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地 震	23,306 円	
				旧長期		
				地 震		
				旧長期		
①のうち地震保険料の金額の合計額					②	円
①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					③	円
$\left[\text{②の金額} \right] + \left[\text{③の金額} \times \left(\frac{\text{③の金額}}{10,000} \right) \right] \times \left(\frac{\text{③の金額}}{1/2 + 5,000} \right) \times \left(\frac{\text{③の金額}}{10,000} \right)$					④	円
地震保険料控除額					④	円

社 会 保 険 の 種 類	保 険 料 支 払 先 の 名 称	保 険 料 を 負 担 す る こ と に な っ て い る 人		あなたが本年中に支払った 保険料の金額
		氏 名	あなたとの 続 柄	
				円
				円
合 計 （ 控 除 額 ）				円

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

最後は社会保険料控除の記入です

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

保険料控除申告書

親 展 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル3階

佐々木 康貴 様



大切なお知らせ

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

国民年金保険料を社会保険料控除として申告(年末調整・確定申告)する際は、この証明書と領収証書が必要です。大切に保管してください。

差出人  **日本年金機構** 〒168-8505
 Japan Pension Service 東京都杉並区高井戸西三丁目5番24号

お問い合わせ先、宛先不明の場合の返送先

7

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書

被保険者氏名 佐々木 康貴 様
住 所 東京都港区北青山3-5-1 4
青山鈴木硝子ビル7階

平成30年中(1月1日から10月1日まで)に納付していただいた
国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明します。

証 明 日 平成30年10月2日

歳入徴収官 厚生労働省年金局事業管理課長 印

平成30年中の納付済保険料額

①納付済額	納付済保険料の証明額	150,000円
-------	------------	----------

(二参考)

②見込額	10月2日から12月31日までに 納付が見込まれる保険料額	30,000
------	----------------------------------	--------

③合計額	①納付済額+②見込額 (②見込額がある場合に表示)	180,000
------	------------------------------	---------

- 「①納付済額」欄の証明額は、平成30年1月1日から10月1日までに納付された保険料額です。
- 「②見込額」は、引き続き年末までに納付された場合の保険料額を表示しています。
- 以下の場合は、②見込額・③合計額が表示されません。
 - ・他の年金制度（厚生年金保険等）に加入されている場合
 - ・平成31年3月または平成32年3月までの保険料を前納されている場合
 - ・保険料の未納期間がある場合 など

納付状況の内訳

[illegible]

- 「済」は平成30年中に納付された月を、「見」は平成30年中に納付が見込まれる月を示しています。
- 11月分保険料(口座振替の早割の方は12月分保険料)は、翌年の第1営業日が口座振替日のため、翌年分の控除対象です。

◎社会保険料控除(年末調整・確定申告)を申告される方へ

- 「③合計額」欄に記載がある方は、「③合計額」欄の額を、記載がない方は、「①納付済額」欄の額を申告してください。
- 10月2日から12月31日までに、「①納付済額」欄または「③合計額」欄の額以外の保険料を納付された場合は、その分の領収証書を添付等して申告してください。

XXXX XXXX XXXX

除

人
年
金
保
険
料

				支払開始日		新・旧	(a)	
				支払開始日		新・旧	(a)	
				支払開始日		新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D	円	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等）に当てはめて計算した金額	④	(最高40,000円)	計（④＋⑤）	⑥	(最高40,000円)
						円		円
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E	円	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等）に当てはめて計算した金額	⑤	(最高50,000円)	⑤と⑥のいずれか	⑥	(最高50,000円)
						円		円

計算式Ⅰ（新保険料等）※

計算式Ⅱ（旧保険料等）※

生命保険料控除額

A.C又はDの金額

控除額の計算式

B又はEの金額

控除額の計算式

計（④＋⑤＋⑥）
(最高120,000円)

20,000円以下

A.C又はDの金額

25,000円以下

B又はEの金額

20,001円から40,000円まで

A.C又はD×1.6＋10,000円

25,001円から50,000円まで

B又はE×1.2＋12,500円

40,001円から80,000円まで

A.C又はD×1.2＋10,000円

50,001円から100,000円まで

B又はE×1.2＋12,500円

80,001円以上

一律140,000円

100,001円以上

一律140,000円

ご契約者を記入しま

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数がある場合は、その端数を切り

ご契約者を記入します

佐々木 康貴 

京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

地震保険料控除額	保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の対象となった家屋等に居住又は家財を利用している者等の氏名	地震保険料又は旧長期損害保険料区分	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、左欄の区分に係る金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
	〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地 震	23,306	
					旧長期		
					地 震 旧長期		
①のうち地震保険料の金額の合計額						②	円
①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額						③	円
④の金額 (④の金額が10,000円を超える場合は、 $④ \times 1/2 + 5,000$ 円) ※		(⑤の金額 (⑤の金額が15,000円)		(⑥の金額 (⑥の金額が15,000円)		(⑦の金額 (⑦の金額が15,000円)	
地震保険料控除額				=		(⑧の金額 (⑧の金額が15,000円) 円	

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に支払った保険料の金額 円
		氏名	あなたとの続柄	
		佐々木康貴		円
合 計 （ 控 除 額 ）				円

小規模企業共済等掛金	種 類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
	独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
	確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
	合 計（控除額）	円

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

保険料控除申告書

親展 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

佐々木 康貴 様



大切なお知らせ

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

国民年金保険料を社会保険料控除として申告（年末調整・確定申告）する際は、この証明書や領収証書が必要です。大切に保管してください。

差出人 日本年金機構 Japan Pension Service 〒168-8505 東京都杉並区高井戸西三丁目5番24号

お問い合わせ先、宛先不明の場合の返送先

〒

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

被保険者氏名 佐々木 康貴 様
住所 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

平成30年中（1月1日から10月1日まで）に納付していただいた国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明します。

証明日 平成30年10月2日

歳入徴収官 厚生労働省年金局事業管理課長

印

平成30年中の納付済保険料額

①納付済額	納付済保険料の証明額	150,000円
（ご参考）		
②見込額	10月2日から12月31日までに納付が見込まれる保険料額	30,000円
③合計額	①納付済額+②見込額 （②見込額がある場合に示す）	180,000円

- 「①納付済額」欄の証明額は、平成30年1月1日から10月1日までに納付された保険料額です。
- 「②見込額」は、引き続き年末までに納付された場合の保険料額を表示しています。
- 以下の場合は、②見込額・③合計額が表示されません。
 - ・他の年金制度（厚生年金保険等）に加入されている場合
 - ・平成31年3月または平成32年3月までの保険料を前納されている場合
 - ・保険料の未納期間がある場合

納付状況の内訳

年	月	納付対象月											
平成30年		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		済	済	済	済	済	済	済	済	済	済		

●「済」は平成30年中に納付された月を、「見」は平成30年中に納付が見込まれる月を示しています。

●11月分保険料（口座振替の早割の方は12月分保険料）は、翌年の第1営業日が口座振替日のため、翌年分の控除対象です。

◎社会保険料控除（年末調整・確定申告）を申告される方へ

- 「③合計額」欄に記載がある方は、「③合計額」欄の額を、記載がない方は、「①納付済額」欄の額を申告してください。
- 10月2日から12月31日までに、「①納付済額」欄または「③合計額」欄の額以外の保険料を納付された場合は、その分の領収証書を添付等して申告してください。

XXXX XXXX XXXX

佐々木 康貴



保

京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

保険会社等の名称	保険等の種類（目的）	保険期間	保険等の氏名 （保険等の対象となった家族等 に居住又は家財を所有する者等の氏名）	地震保険料 又は旧長期 損害保険料 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額（分配を受けた剰 余金等の控除後の金額） （A）	給与の 支払者の 確認印
〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地震 旧長期	23,306円	
④のうち地震保険料の金額の合計額					（B）円	
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					（C）円	
地震保険料 控除額					（B）の金額（最高50,000円） +（C）の金額（Cの金額が 10,000円を超える場合は、 C × 1/2 + 5,000円）※ （最高50,000円）	

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人 氏名	あなたが本年中に支払った保険料の金額
国民年金		佐々木康貴	
合計（控除額）			

小規模	種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
	独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
	確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	合計（控除額）	

社会保険の種類を記入します

国民年金の控除なので「国民年金」と記入します

保険料控除申告書

親展 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

佐々木 康貴 様



大切なお知らせ

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

国民年金保険料を社会保険料控除として申告（年末調整・確定申告）する際は、この証明書や領収証書が必要です。大切に保管してください。

差出人 日本年金機構 Japan Pension Service 〒168-8505 東京都杉並区高井戸西三丁目5番24号

お問い合わせ先、宛先不明の場合の返送先

〒

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

被保険者氏名 佐々木 康貴 様
住所 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

平成30年中（1月1日から10月1日まで）に納付していただいた国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明します。

証明日 平成30年10月2日

歳入徴収官 厚生労働省年金局事業管理課長

印

平成30年中の納付済保険料額

①納付済額	納付済保険料の証明額	150,000円
（ご参考）		
②見込額	10月2日から12月31日までに納付が見込まれる保険料額	30,000円
③合計額	①納付済額+②見込額 （②見込額がある場合に表示）	180,000円

- 「①納付済額」欄の証明額は、平成30年1月1日から10月1日までに納付された保険料額です。
- 「②見込額」は、引き続き年末までに納付された場合の保険料額を表示しています。
- 以下の場合は、②見込額・③合計額が表示されません。
 - ・他の年金制度（厚生年金保険等）に加入されている場合
 - ・平成31年3月または平成32年3月までの保険料を前納されている場合
 - ・保険料の未納期間がある場合 など

納付状況の内訳

年	月	納付対象月											
平成30年		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		済	済	済	済	済	済	済	済	済	済		

●「済」は平成30年中に納付された月を、「見」は平成30年中に納付が見込まれる月を示しています。

●11月分保険料（口座振替の早割の方は12月分保険料）は、翌年の第1営業日が口座振替日のため、翌年分の控除対象です。

◎社会保険料控除（年末調整・確定申告）を申告される方へ

- 「③合計額」欄に記載がある方は、「③合計額」欄の額を、記載がない方は、「①納付済額」欄の額を申告してください。
- 10月2日から12月31日までに、「①納付済額」欄または「③合計額」欄の額以外の保険料を納付された場合は、その分の領収証書を添付等して申告してください。

XXXX XXXX XXXX

佐々木 康貴



保

京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

保険会社等の名称	保険等の種類（目的）	保険期間	保険契約者の氏名 （保険等の対象となった家 屋等に居住又は家財を 利用している者等の氏名）	地震保険料 又は旧長期 損害保険料 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額（分配を受けた割 合年金等の控除後の金額） （A）	給与の 支払者の 確認印
〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地震 旧長期	23,306円	
④のうち地震保険料の金額の合計額					（B）円	
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					（C）円	
地震保険料控除額 （B）の金額（最高50,000円） +（C）の金額（Cの金額が 10,000円を超える場合は、 C × 1/2 + 5,000円）※ （最高50,000円）						

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人 氏名	あなたが本年中に支払った保険料の金額
国民年金	空欄	佐々木康貴	
合計（控除額）			

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	

保険料支払先の名称は「空欄」で大丈夫です

保険料控除申告書

親展

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

佐々木 康貴 様

大切なお知らせ

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

国民年金保険料を社会保険料控除として申告（年末調整・確定申告）する際は、この証明書や領収証書が必要です。大切に保管してください。

差出人

日本年金機構
Japan Pension Service

〒168-8505

東京都杉並区高井戸西三丁目5番24号

お問い合わせ先、宛先不明の場合の返送先

〒

佐々木 康貴 様

大切なお知らせ

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

国民年金保険料を社会保険料控除として申告（年末調整・確定申告）する際は、この証明書や領収証書が必要です。大切に保管してください。

差出人  **日本年金機構** 〒168-8505
Japan Pension Service 東京都杉並区高井戸西三丁目5番24号

お問い合わせ先、宛先不明の場合の返送先

三

被保険者氏名 佐々木 康貴 様
住 所 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

平成30年中(1月1日から10月1日まで)に納付していただいた
国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明します。

証 明 日 平 成 3 0 年 1 0 月 2 日

歳入徴収官 厚生労働省年金局事業管理課長

平成30年中の納付済保険料額

①納付済額	納付済保険料の証明額	150,000
-------	------------	---------

(二参考)

②見込額	10月2日から12月31日までに 納付が見込まれる保険料額	30,000
------	----------------------------------	--------

③合計額	①納付済額+②見込額 (②見込額がある場合に表示)	180,000円
------	------------------------------	----------

- 「①納付済額」欄の証明額は、平成30年1月1日から10月1日までに納付された保険料額です。
- 「②見込額」は、引き続き年末までに納付された場合の保険料額を表示しています。
- 以下の場合には、②見込額・③合計額が表示されません。
 - ・他の年金制度（厚生年金保険等）に加入されている場合
 - ・平成31年3月または平成32年3月までの保険料を前納している場合
 - ・保険料の未納期間がある場合

納付状況の内訳

[illegible]

- 「済」は平成30年中に納付された月を、「見」は平成30年中に納付が見込まれる月を示しています。
- 11月分保険料(口座振替の早割の方は12月分保険料)は、翌年の第1営業日が口座振替日のため、翌年分の控除対象です。

◎社会保険料控除(年末調整・確定申告)を申告される方へ

- 「③合計額」欄に記載がある方は、「③合計額」欄の額を、記載がない方は、「①納付済額」欄の額を申告してください。
- 10月2日から12月31日までに、「①納付済額」欄または「③合計額」欄の額以外の保険料を納付された場合は、その分の領収証書を送付後、て申告してください。

XXXX XXXX XXXX

除 入 年 金 保 険 料					支払開始日			新・旧	(a)	
					支払開始日			新・旧	(a)	
					支払開始日			新・旧	(a)	
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D	円	Dの金額を下の計算式Ⅰ（新保険料等専用）に当てはめて計算した金額	④	(最高40,000円)	円	計（④＋⑤）	⑥	(最高40,000円)
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E	円	Eの金額を下の計算式Ⅱ（旧保険料等専用）に当てはめて計算した金額	⑤	(最高50,000円)	円	⑤と⑥のいずれか大きい金額	⑦	(最高90,000円)
計算式Ⅰ（新保険料等専用）※				計算式Ⅱ（旧保険料等専用）※				生命保険料控除額計（⑥＋⑦＋⑧） (最高120,000円)		
A.C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額の計算式				
20,000円以下		A.C又はDの金額		25,000円以下		B又はEの金額				
20,001円から40,000円まで		A.C又はD×1/2＋10,000円		25,001円から50,000円まで		B又はE×1/2＋12,500円				
40,001円から100,000円まで		A.C又はD×1/4＋20,000円		50,001円から100,000円まで		B又はE×1/4＋20,000円				
100,001円以上		A.C又はD×1/4＋30,000円		100,001円以上		B又はE×1/4＋30,000円				



給与の
人付

(保

保険会社等の 名称	保険等の 種類(目的)	保険 期間	保 険 等 の 氏 名 の 姓 名	地 震 保 険 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 険 料 分 区	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額(分配を受けた親 金等の控除後の金額) (A)	給 与 の 支 払 の 確 認
〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地 震 旧長期	23,306 円	
				地 震 旧長期		
①のうち地震保険料の金額の合計額					②	
①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					③	
地震保険料 控 除 額	$\left(\text{②の金額} \text{ (最高50,000円)} \right) + \left(\text{③の金額 (③の金額が10,000円を超える場合は、} \right. \\ \left. \text{③} \times 1/2 + 5,000 \text{円)} \right) \times \text{ } \text{円}$					
	$\text{ } = \text{ (最高50,000円)}$					

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に支払った保険料の金額
		氏名	あなたとの続柄	
国民年金	空欄	佐々木康貴	本人	
合 計（控除額）				

小規模企業共済等掛金	種 類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
	独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	P
	確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	

入してください

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

あなたとの続柄欄は「本人」と記入してください

保険料控除申告書

親展 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

佐々木 康貴 様



大切なお知らせ

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

国民年金保険料を社会保険料控除として申告（年末調整・確定申告）する際は、この証明書や領収証書が必要です。大切に保管してください。

差出人 日本年金機構 Japan Pension Service 〒168-8505 東京都杉並区高井戸西三丁目5番24号

お問い合わせ先、宛先不明の場合の返送先

〒

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

被保険者氏名 佐々木 康貴 様
住所 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

平成30年中（1月1日から10月1日まで）に納付していただいた国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明します。

証明日 平成30年10月2日

歳入徴収官 厚生労働省年金局事業管理課長

印

平成30年中の納付済保険料額

①納付済額 納付済保険料の証明額 150,000円

（ご参考）

②見込額 10月2日から12月31日までに納付が見込まれる保険料額 30,000円

③合計額 ①納付済額+②見込額（②見込額がある場合に表示） 180,000円

- 「①納付済額」欄の証明額は、平成30年1月1日から10月1日までに納付された保険料額です。
- 「②見込額」は、引き続き年末までに納付された場合の保険料額を表示しています。
- 以下の場合は、②見込額・③合計額が表示されません。
 - ・他の年金制度（厚生年金保険等）に加入されている場合
 - ・平成31年3月または平成32年3月までの保険料を前納されている場合
 - ・保険料の未納期間がある場合

納付状況の内訳

年	月	納付対象月											
平成30年		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		済	済	済	済	済	済	済	済	済	済		

●「済」は平成30年中に納付された月を、「見」は平成30年中に納付が見込まれる月を示しています。

●11月分保険料（口座振替の早割の方は12月分保険料）は、翌年の第1営業日が口座振替日のため、翌年分の控除対象です。

◎社会保険料控除（年末調整・確定申告）を申告される方へ

- 「③合計額」欄に記載がある方は、「③合計額」欄の額を、記載がない方は、「①納付済額」欄の額を申告してください。
- 10月2日から12月31日までに、「①納付済額」欄または「③合計額」欄の額以外の保険料を納付された場合は、その分の領収証書を添付等して申告してください。

XXXX XXXX XXXX

佐々木 康貴



保

京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

保険会社等の名称	保険等の種類（目的）	保険期間	保険契約者の氏名 （保険等の対象となった家 屋等に居住又は家財を 利用している者等の氏名 と統制）	地震保険料 又は旧長期 損害保険料 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額（分配を受けた割 合年金の控除後の金額） （A）	給与の 支払者の 確認印
〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地震 旧長期	23,306	
				地震 旧長期		
①のうち地震保険料の金額の合計額					（B）	
①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					（C）	
地震保険料控除額					（B）の金額（最高50,000円） +（C）の金額（Cの金額が 10,000円を超える場合は、 C × 1/2 + 5,000円）※ （最高50,000円）	

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人 氏名	あなたが本年中に支払った保険料の金額
国民年金	空欄	佐々木康貴 本人	180,000
合計（控除額）			

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	

確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金
合計（控除額）	

今年の1月1日から12月31日までの支払合計の記載になります
過去のさかのぼり支払分があった場合も合計金額に加算してください

保険料控除申告書

親展

東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

佐々木 康貴 様



大切なお知らせ

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

国民年金保険料を社会保険料控除として申告（年末調整・確定申告）する際は、この証明書や領収証書が必要です。大切に保管してください。

差出人

日本年金機構 Japan Pension Service 〒168-8505 東京都杉並区高井戸西三丁目5番24号

お問い合わせ先、宛先不明の場合の返送先

〒

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書

被保険者氏名 佐々木 康貴 様
住所 東京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階

平成30年中（1月1日から10月1日まで）に納付していただいた国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明します。

証明日 平成30年10月2日

歳入徴収官 厚生労働省年金局事業管理課長

印

平成30年中の納付済保険料額

①納付済額	納付済保険料の証明額	150,000円
（ご参考）		
②見込額	10月2日から12月31日までに納付が見込まれる保険料額	30,000円
③合計額	①納付済額+②見込額 （②見込額がある場合に表示）	180,000円

- 「①納付済額」欄の証明額は、平成30年1月1日から10月1日までに納付された保険料額です。
- 「②見込額」は、引き続き年末までに納付された場合の保険料額を表示しています。
- 以下の場合は、②見込額・③合計額が表示されません。
 - ・他の年金制度（厚生年金保険等）に加入されている場合
 - ・平成31年3月または平成32年3月までの保険料を前納されている場合
 - ・保険料の未納期間がある場合

納付状況の内訳

年	月	納付対象月											
平成30年		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		済	済	済	済	済	済	済	済	済	済		

●「済」は平成30年中に納付された月を、「見」は平成30年中に納付が見込まれる月を示しています。

●11月分保険料（口座振替の早割の方は12月分保険料）は、翌年の第1営業日が口座振替日のため、翌年分の控除対象です。

◎社会保険料控除（年末調整・確定申告）を申告される方へ

●「③合計額」欄に記載がある方は、「③合計額」欄の額を、記載がない方は、「①納付済額」欄の額を申告してください。

●10月2日から12月31日までに、「①納付済額」欄または「③合計額」欄の額以外の保険料を納付された場合は、その分の領収証書を添付等して申告してください。

XXXX XXXX XXXX

佐々木 康貴



京都港区北青山3-5-14
青山鈴木硝子ビル7階



保

保険会社等の名称	保険等の種類（目的）	保険期間	保険等の氏名 （保険等の対象となった家 屋等に居住又は家財を 利用している者等の氏名 と統括）	地震保険料 又は旧長期 損害保険料 区分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額（分配を受けた割 合年金等の控除後の金額） （A）	給与の 支払者の 確認印
〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地震 旧長期	23,306円	
				地震 旧長期		
④のうち地震保険料の金額の合計額					（B）円	
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					（C）円	
地震保険料 控除額					（B）の金額（最高50,000円） +（C）の金額（Cの金額が 10,000円を超える場合は、 C × 1/2 + 5,000円）※ （最高50,000円）	

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人 氏名	あなたが本年中に支払った保険料の金額
国民年金	空欄	佐々木康貴 本人	180,000円
合計（控除額）			円

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	

国民年金支払時の領収書も一緒に送ってください

保険料控除申告書

あなたの氏名	佐々木 康貴
あなたの住所 又は 居 所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階
給与の支払者の 法 人 番 号	※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。
給与の支払者の 所 在 地 (住 所)	



保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類	保 険 期 間 又 は 年 金 支 払 期 間	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	保 険 金 等 の 受 取 人		新・旧 の 区 分	あなたが本年中に支払った 保険料等の金額(分配を受けた 剰余金等の控除後の金額) (a)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
				氏 名	あなたとの 統 続			
□□生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子	妻	新・旧	128,962	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②)	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額	③
□□生命保険	〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子		(a)		
						(a)		
(a)の金額の合計額		C	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(④+⑤)	(最高40,000円)
□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	新・旧	240,000	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(④+⑤)	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高50,000円)	⑤と⑥のいずれか大きい金額	⑥

保 険 会 社 等 の 名 称	保 険 等 の 種 類 (目的)	保 険 期 間	保 険 等 の 契 約 者 の 氏 名	地 震 保 険 料 又 は 旧 長 期 損 害 保 険 料 分	あなたが本年中に支払った 保険料等のうち、左欄の区分 に係る金額(分配を受けた剰 余金等の控除後の金額) (A)	給 与 の 支 払 者 の 確 認 印
〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	地震 旧長期	23,306	
				地震 旧長期		
①のうち地震保険料の金額の合計額					②	円
①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					③	円
②の金額 (最高50,000円) + ③の金額 (③の金額が10,000円を超える場合は、 $C \times 1/2 + 5,000$ 円) ※ 地震保険料控除額 = (最高50,000円)						

社 会 保 険 の 種 類	保 険 料 支 払 先 の 名 称	保 険 料 を 負 担 す る こ と に な っ て い る 人		あなたが本年中に支払った保険料の金額
		氏 名	あなたとの統続	
国民年金	空欄	佐々木康貴	本人	180,000
国民健康保険	〇〇市	佐々木康貴	本人	120,000
合 計 (控 除 額)				円

小 規 模	種 類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
	独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

国民健康保険の場合は支払先名称が空欄ではなく

「〇〇市」「〇〇区」となりますので注意してください

保険料控除申告書

給与の支払者の法人番号	あなたの氏名	佐々木 康貴
給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所	東京都港区北青山3-5-14 青山鈴木硝子ビル7階

※ この申告書の提出を受けた給与の支払者(個人を除きます。)が記載してください。

税務署長



保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期間	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人		新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
				氏名	あなたとの続柄			
□□生命保険	医療保険	終身	佐々木康貴	佐々木和子	妻	新・旧	128,962	(a) 円
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	Aの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		①	(最高40,000円)	計(①+②)	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	Bの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		②	(最高50,000円)	②と③のいずれか大きい金額	③
□□生命保険	〇〇型医療還付	10年	佐々木康貴	佐々木和子		(a)	円	
						(a)		
(a)の金額の合計額		C	Cの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(④+⑤)	(最高40,000円)
□□生命保険	確定年金	30年	佐々木康貴	佐々木康貴	本人	新・旧	240,000	(a) 円
						新・旧	(a)	
						新・旧	(a)	
(a)のうち新保険料等の金額の合計額		D	Dの金額を下の計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		④	(最高40,000円)	計(④+⑤)	(最高40,000円)
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		E	Eの金額を下の計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤	(最高50,000円)	⑤と⑥のいずれか大きい金額	⑥

保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の契約者の氏名	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印
〇〇損害保険	地震保険	5年	佐々木康貴	23,306	(a) 円
①のうち地震保険料の金額の合計額				②	円
①のうち旧長期損害保険料の金額の合計額				③	円
②の金額(最高50,000円) + ③の金額(③の金額が10,000円を超える場合は、③ × 1/2 + 5,000円) ※				(最高15,000円)	円
地震保険料控除額				=	(最高50,000円)

社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになった人の氏名	あなたが本年中に支払った保険料の金額
国民年金	空欄	佐々木康貴	本人 180,000
国民健康保険	〇〇市	佐々木康貴	本人 120,000
合計(控除額)			300,000 円

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。

あなたが本年中に支払った保険料の金額の合計を記入してください